

様式1 いおう酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画

施設番号	大気汚染防止法施行令第1項番号	施設の種類	施設の設置年月日	原料の処理能力及び燃料の燃焼能力 (kL/h) ( $10^3 \text{Nm}^3/\text{h}$ ) (t/h)	使用する原料及び燃料				脱硫効率	燃料からのSOx排出量 ( $\text{Nm}^3/\text{h}$ )		原料からのSOx排出量 ( $\text{Nm}^3/\text{h}$ )		重油換算係数	原料及び燃料使用量の重油換算値WSOx (kL/h)				※燃料使用量の重油換算値 (t/h) $0.9 \times (Wf+Wi f)$	使用状況(交互・予備・休止・廃止)	※通常の使用計画			備考
					種類	混焼割合(%)	硫黄分(%)	液体燃料の比重		処理前	処理後	処理前	処理後		W		Wi				実燃料使用量 (kL/日) ( $10^3 \text{Nm}^3/\text{日}$ ) (t/日)	重油換算燃料使用量 (t/日)	燃料からのSOx実排出量 ( $\text{Nm}^3/\text{日}$ )	
															Wf	Wm	Wif	Wim						
									<1>		<2>		Wf	Wm	Wif	Wim	<3>		<4>	<5>				
									0		0		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		0	0				
									SOx排出量 ( $\text{Nm}^3/\text{h}$ ) =<1>+<2>			W=Wf+Wm		Wi=Wif+Wim		SOx許容排出量Q ( $\text{Nm}^3/\text{h}$ ) a値		※燃料中許容S分(%)=(Q-<2>)/(7×<3>)			#DIV/0!			
												WSOx (kL/h)=W+Wi				Q ( $\text{Nm}^3/\text{h}$ )		※使用燃料S分(%)=<5>/(7×<4>)			#DIV/0!			
												0.000				0								
合計																								

- 備考 1 合計には、交互使用の施設のうちWSOxの小さいもの並びに予備、休止及び廃止の施設は含めないこと。  
 2 「燃料使用量の重油換算値 (t/h)」の算定にあたっては、比重は原則として0.9とすること。  
 3 SOx許容排出量の算定式は次のとおりである。I式： $Q = a \cdot W^{0.85}$ 、II式： $Q = a \cdot W^{0.85} + 0.3 \times a \cdot \{ (W+Wi)^{0.85} - W^{0.85} \}$   
 4 「使用する原料及び燃料」の「種類」が灯油、液化石油ガス又は都市ガスのみであるときは、※印の欄の記載は省略することができる。

様式2 窒素酸化物に係るばい煙発生施設の使用計画

施設番号	施設係数に係る区分番号 大気汚染防止法別表第1項号	施設の種 類	施設の 設置年月 日	原料の 処理能力又は 燃料の燃 焼能力 (kL/h) ( $10^3 \text{Nm}^3/\text{h}$ ) (t/h)	使用する原 料又は燃料		原料 及び燃 料換 算係 数	燃料 の特 別の 換算 係数	原料又 は燃料 の重 油換 算値 WNOx (kL/h)	WNOx に係用 状況 (交・ 予・ 休・ 廃 止)	単 位 乾 排 ガ ス 量 G <sub>0</sub> (Nm <sup>3</sup> /L) (Nm <sup>3</sup> /kg) (Nm <sup>3</sup> /Nm <sup>3</sup> )	排 出 ガ ス 乾 格 換 算 定 格 排 出 量 Q <sub>0</sub> (Nm <sup>3</sup> /h)	排 出 ガ ス 量 ( $10^4 \text{Nm}^3/\text{h}$ )		施 設 係 数		許 容 排 出 量		施 設 管 理 値		NOx対 策の 内 容	C・V+Ci・ Viに係 る使 用状 況 (交・ 予・ 休・ 廃 止)	備 考		
					種 類	混 焼 割 合 (%)							V	Vi	C	Ci	C・V	Ci・Vi	NOx許 容排 出量 Q (Nm <sup>3</sup> /h)	N値 (ppm)				最大 NOx排 出量 1/100N (V+Vi) (Nm <sup>3</sup> /h)	
ABC-156																									
ABCDE-123																									
ABC-123																									
ABC-124																									
ABC-125																									
法対象施設合計									0	k=	0.6					L=	0.95	0	0	0		0			

- 備考1 合計には、交互使用の施設のうちWNOx又はC・V+Ci・Viの小さいもの並びに予備、休止及び廃止の施設は含めないこと。  
 2 NOx許容排出量の算定式は次のとおりである。 $Q=K \cdot \{ \sum (C \cdot V) + \sum (Ci \cdot Vi) \}^L$  (参考 k=0.6, L=0.95)  
 3 施設管理値のN値を変更しようとするときは、当該施設に係る付表を添付すること。

